

平成26年度 機関保証制度検証委員会

機関保証事業概要

平成26年10月31日



公益財団法人 日本国際教育支援協会

Japan Educational Exchanges and Services

1. 機関保証センターの体制

① 機関保証センターの組織

機関保証センターは、1課(機関保証課)・2係(管理係/企画システム係)から1課3係体制へ充実

【平成26年3月末まで】

【平成26年4月1日】

— 主な業務 —

機関保証
センター

機関保証課

管理係

企画
システム係

企画・管理係

債権管理・回収係

システム運用係

被保証者に係る実績・現状報告／
予算策定／保証料資産運用／
返戻保証料管理／代位弁済審査・履行

求償債権管理・回収／
回収委託業者との業務連携／
貸与継続中・返還中の被保証者
に係る債権管理

保証料管理システムの管理・運用／
求償債権管理システムの管理・運用／
各種統計資料作成

② 機関保証センターの人員

【平成16年4月1日制度発足時】 5名

- ・機関保証センター長 (協会プロパー)
- ・機関保証課長 (機構出向者)
- ・機関保証課長補佐 (機構出向者)
- ・管理係長 (機構出向者)
- ・企画システム係長 (機構出向者)

【平成25年度:8名】

- ・機関保証センター長 (協会プロパー) 民間金融機関出身
- ・機関保証課長 (民間出向者) 民間金融機関からの出向
- ・管理係長 (機構出向者)
- ・管理係主任 (協会プロパー) 民間コンサルティング会社出身
- ・管理係員 (協会プロパー)
- ・企画システム係主任 (機構出向者)
- ・企画システム係主任 (機構出向者)
- ・企画システム係員 (協会プロパー 新規採用者)

【平成26年4月1日】10名

- ・機関保証センター長
- ・機関保証課長
- ・企画・管理係長
- ・企画・管理係主任
- ・企画・管理係員
- ・債権管理・回収係主任
- ・債権管理・回収係主任
- ・債権管理・回収係員
- ・システム運用係主任
- ・システム運用係員

◇機関保証センター長は、民間金融機関から招聘(平成20年7月)

◇機構出向者は、全員10年以上の奨学金実務または機関保証実務経験者

2. 機関保証体制と制度スキーム

平成25年度決算ベース

日本国際教育支援協会

役員・総務部(総務課・会計課)
機関保証センター10名

- 特徴
- ①低廉な保証料(年率0.693%)
 - ②無審査での保証引受
 - ③猶予・免除有り
 - ④収支相償

システム会社社員 4名
常駐での管理運営

保証料管理システム



求償権管理システム

大学教授および
公益法人
運用担当者
による

資産運用 検討 委員会 6名

外部有識者(弁護士)
を入れての審査

代位弁済 審査会 5名

25,312百万円
(毎月の奨学金から
差し引き方式)

保証料支払

求償債権回収

協会での回収

+

債権回収業者 (サービサー) による回収

代位弁済履行者に対する債権回収

H25年度回収額 922百万円
累計回収額 1,923百万円

データ

代位弁済請求

代位弁済履行

奨学生

平成25年度
新規採用件数48万件

選択

選択

機関保証選択者

平成25年度
選択率 48.0%
新規加入件数
230,572件

選択件数累計
1,567,428件

人的 保証 選択者

返還
督促

債務
不履行

貸与

返還

貸与

返還

日本学生支援機構 債権管理部

延滞者に対し
機構において
十分な督促

1,902
百万円

利息

資産
運用

+13,724
百万円

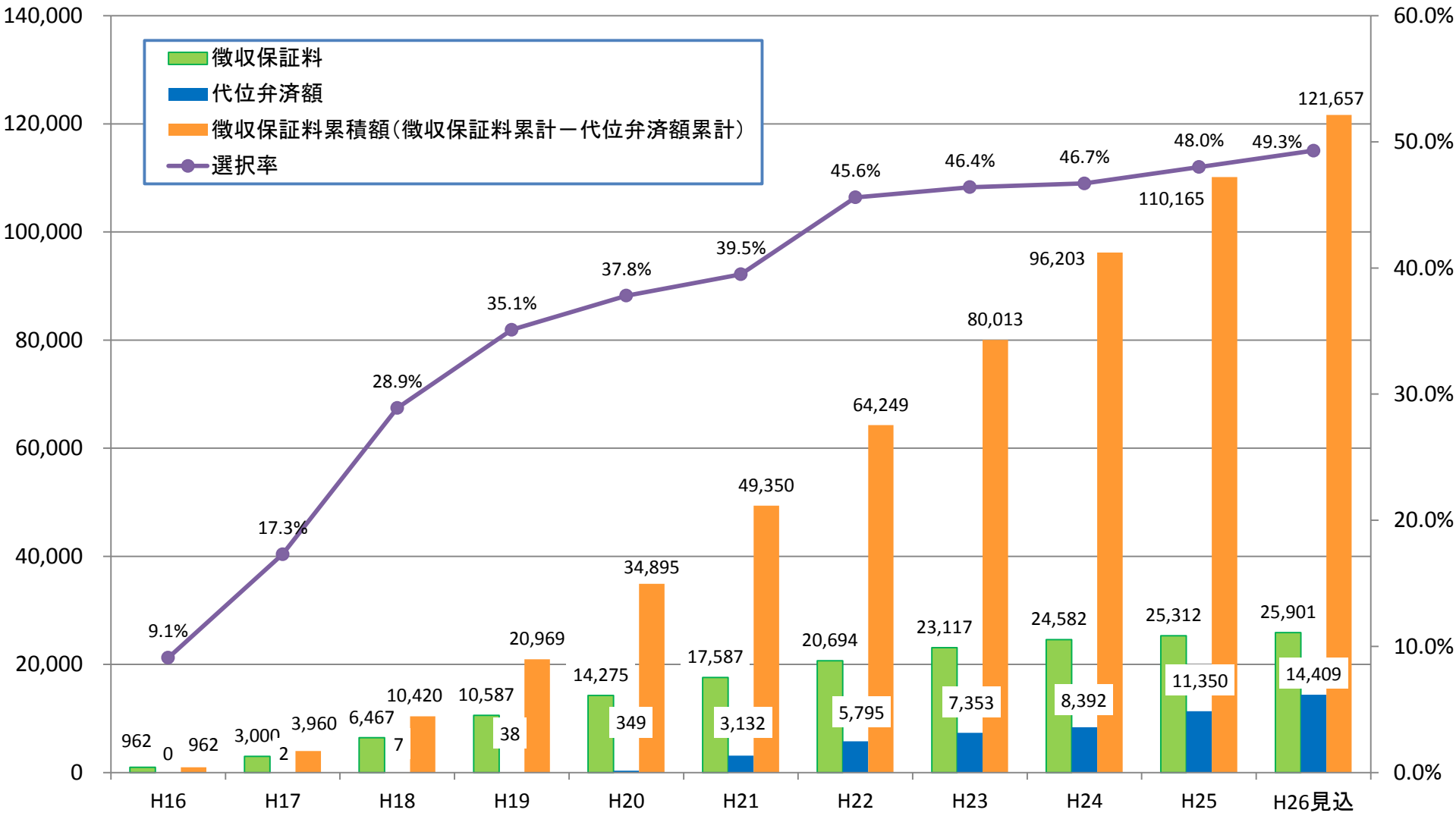
金融機関：運用資産110,833百万円

- 平成25年度代位弁済 履行実績 5,456件 11,350百万円
- 代位弁済履行累計実績 19,199件 36,419百万円

3. 年度別 機関保証制度推移

①徴収保証料・代位弁済額・徴収保証料累積額・新規選択率の年度別推移

単位: 百万円



平成26年度9月末実績は下記のとおり。

・徴収保証料 : 10,588百万円
 ・代位弁済額 : 4,992百万円
 ・徴収保証料累積額 : 115,761百万円
 ・選択率 : 46.2%

②経過保証料(収入保証料)

単位:百万円

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26予算
47	247	697	1,456	2,498	3,795	5,353	6,957	8,670	10,402	11,985

③債務保証残高

単位:百万円

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26予算
21,797	88,566	229,230	452,178	742,152	1,083,435	1,466,742	1,875,871	2,287,421	2,682,341	3,115,538

④受取利息(上段)・運用利回り(下段)

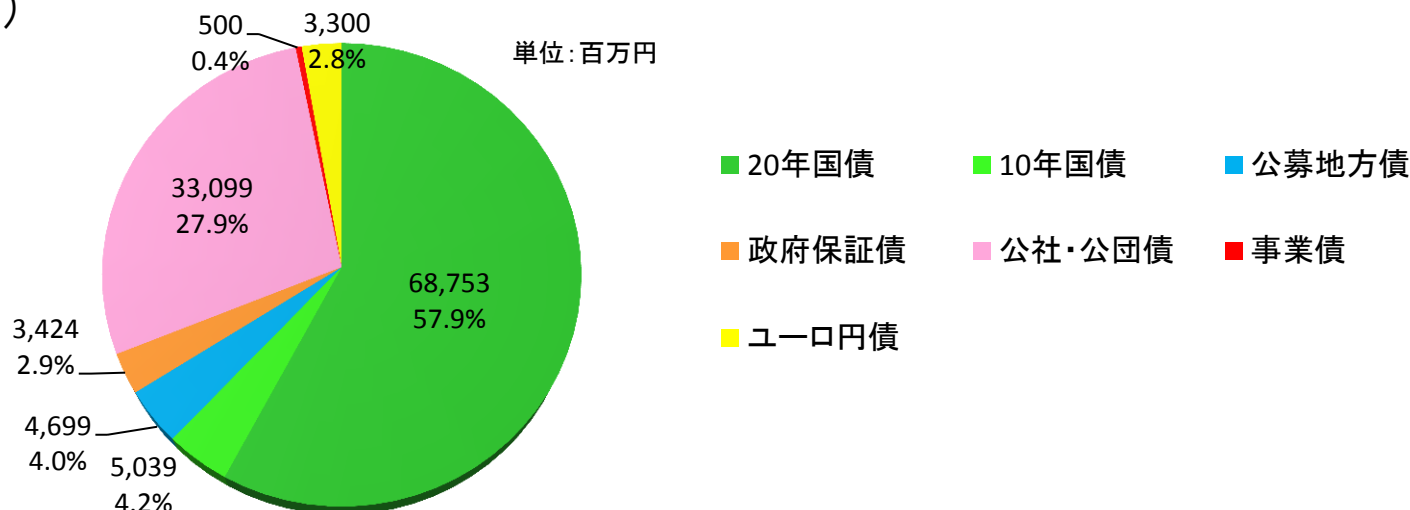
単位:百万円(上段)
% (下段)

H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26見込
0	21	88	230	514	758	902	1,346	1,448	1,902	2,110
-	1.52	1.78	2.19	2.16	1.93	1.61	1.62	1.75	1.69	1.70

⑤保有資産(簿価)

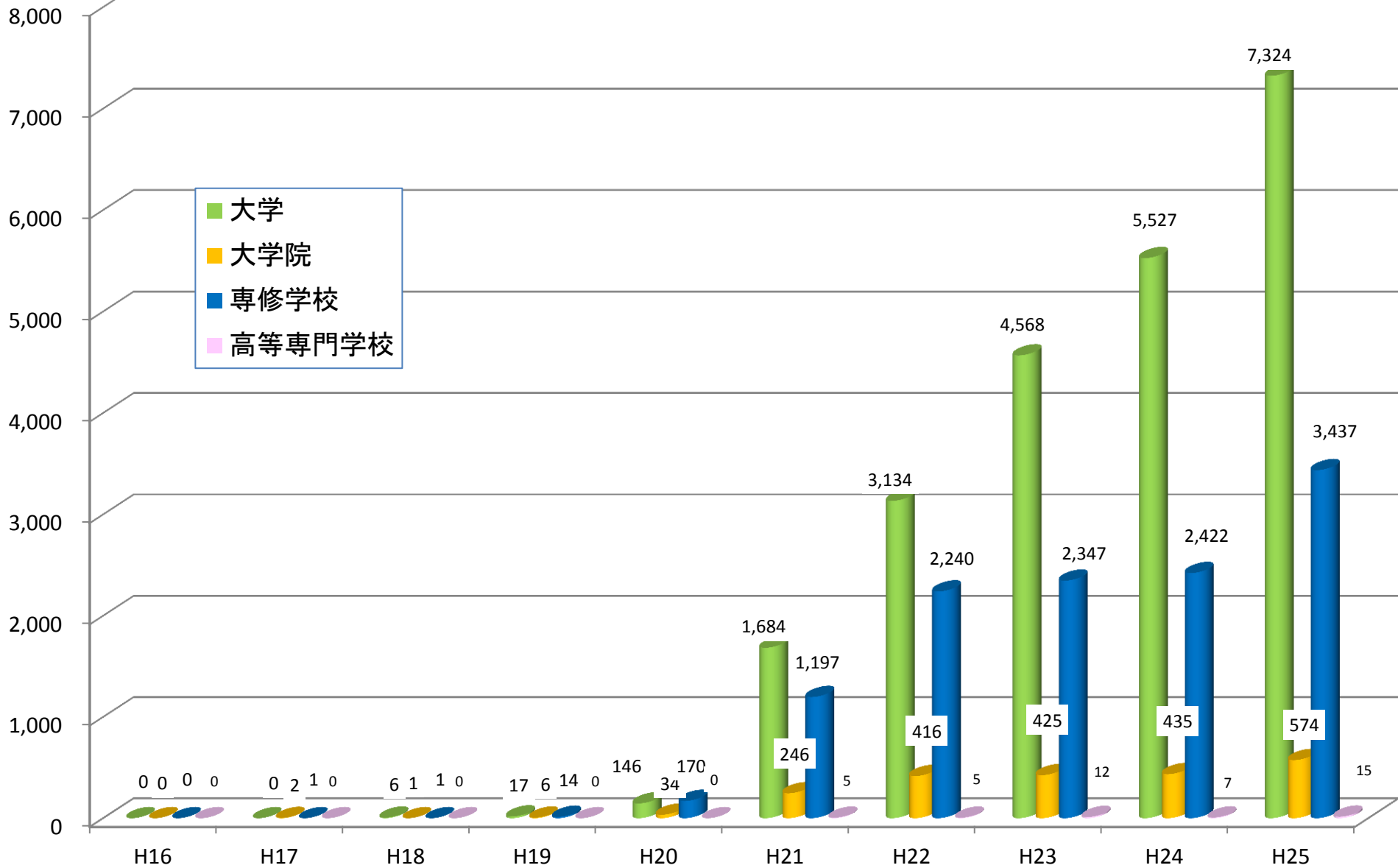
1,188億円
(平成26年9月末現在)

単位:百万円

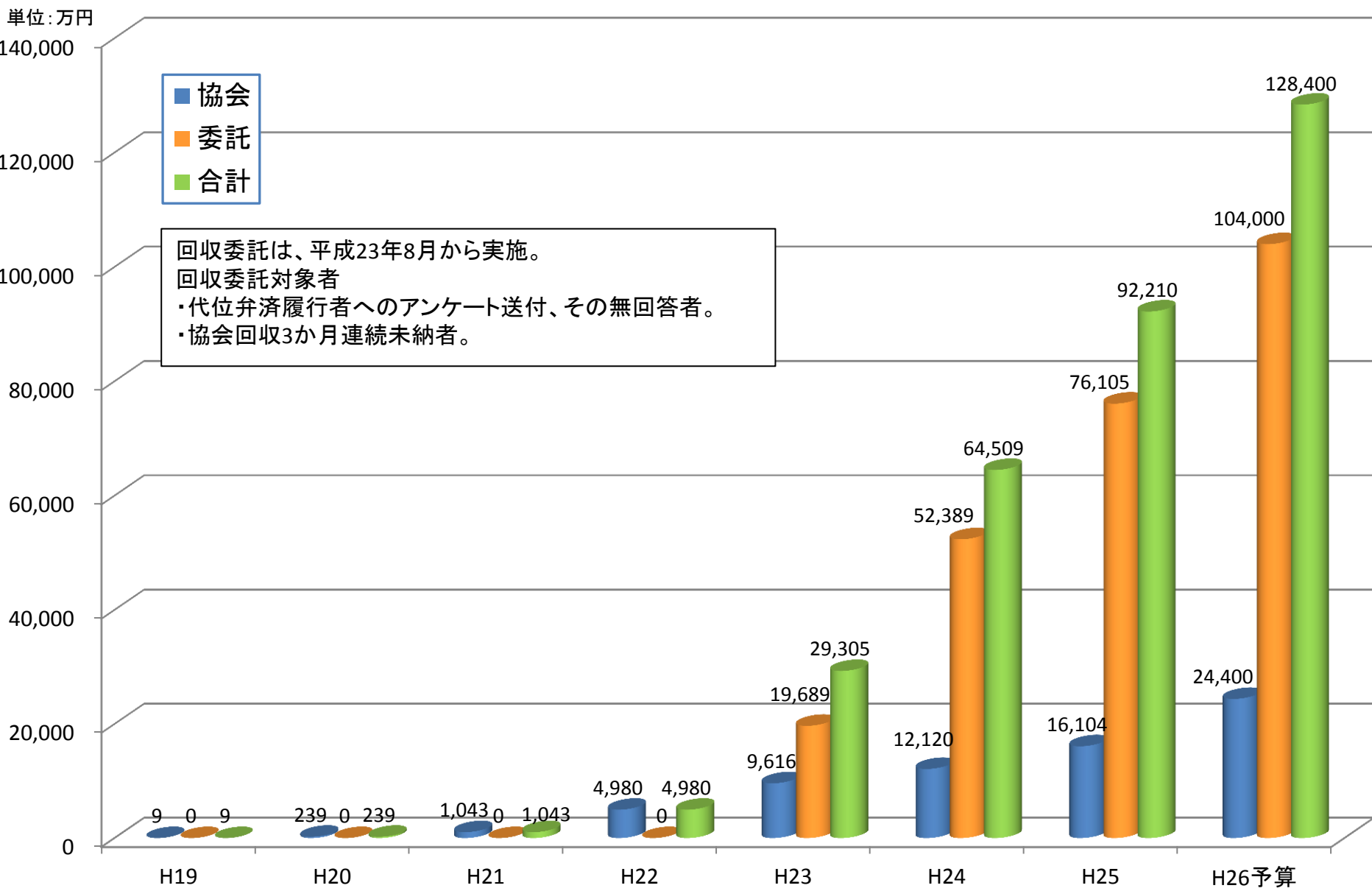


4. 学種別 代位弁済額

単位: 百万円



5. 年度別 求償債権回収額状況



回収委託は、平成23年8月から実施。
回収委託対象者
・代位弁済履行者へのアンケート送付、その無回答者。
・協会回収3か月連続未納者。

H26年度9月末実績は、協会11,755万円、委託51,814万円、合計63,569万円

6. 求償債権の回収強化に向けて

回収体制の強化

- 平成26年度～27年度において、各年度1名ずつの職員増員を予定。
- 機構との人事交流を活発化するとともに、日常業務における機構との密なコミュニケーションを継続。ノウハウも共有。
- 協会回収状況の機構との打ち合わせを、毎月実施。
- 協会回収を強化。アンケート回収率の向上。協会維持率の向上。

法的措置の導入

- 平成25年度下期に支払督促催告書を内容証明郵便にて送付。送付1,036件、送達532件(51.4%)、入金85件(16.0%)
- 平成26年度上期実績は、送付800件、送達448件(56.0%)、入金87件(19.4%)
- 支払能力があると判断できた者には支払督促申し立てを5件実施済(4件は支払に応じた。1件はフォロー中)。追加にて4件の支払い督促申し立てを実施中。
- 平成26年下期にも800件の催告書を内容証明にて送付予定。

サービスの活用

- サービスとの情報交換、情報共有化を促進させるとともにより効率的な回収策を検討・推進。
- サービスとの打ち合わせを、毎月実施。
- 機構におけるサービス活用のノウハウ提供を受け、協会のサービスとも共有し、更なる回収の向上を推進。